

阪神・淡路大震災と東日本大震災という2つの大震災は、防災における地域コミュニティの重要性を思い知らせてくれるものとなりました。

地域コミュニティが強く、地域の縦横の糸が強ければ強いほど、災害時に威力を発揮し「自らの命は自ら守り、自らの地域は自ら守る」という行動ができることを私たちは学んだといえます。

こういった災害を期に、国・府・市・区段階で防災計画の見直しや、策定がされてきている中で、大規模災害で直接被害を受ける地域が、独自性をもった計画の策定が最も重要視されてきました。

今回の策定にあたり、弁天地域活動協議会では、地域住民が安心して安全に暮らせ、大規模災害が発生しても、住民の命と財産を全力で守るため活動していきます。

### ■ 弁天地域活動協議会

大阪市では、おおむね小学校区域を単位として、地域活動協議会を結成し、地域振興会や地区(校下)社会福祉協議会などの地域団体をはじめ市民活動団体や企業が幅広く参画し、地域がこれまでの活動の実績と経験を活かしながら、それぞれの地域課題にあった活動内容を、地域住民みなさんと考え、今まで地域活動に関わりが薄かった世代の人も含め幅広い世代の参画をめざしながら、取り組んでいます。

弁天地区でも平成25年4月から地域活動協議会を設立し、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性を確保しながら自律的な地域運営に取り組んでいます。また、協議会の活動は広報紙「弁天News」やホームページでも報告しています。



### ■ 弁天地域防災計画の公表

○策定した計画は、地域活動協議会役員や町会役員、地域防災リーダーに原則配布し、今後の防災訓練や防災学習などに役立てていきます。

○地域住民への公表については、概要版を配布します。

○弁天地域活動協議会のホームページに計画のPDF版を掲載します。

HP: <http://omb1.jp/>



発行: 弁天地域活動協議会  
発行責任者: 会長 上田 哲夫

- 地域・町会役員と自主防災組織本部員は、個人の避難準備後、本部運営資材を携帯し、指定された各本部設置場所に参加、地域・町会本部を設置します。



- 各本部長は、参集した組織員の出欠を確認し本部運営上の課題を把握するとともに、対策を実施します。

- 地域の被害状況情報の収集するとともに、発災時の初期活動(安否確認・集計・報告、救助、消火、避難誘導)を指示し、対応進捗を適時把握していきます。



- 確認結果を町会毎に集計し、不明者の捜索・確認をすると共に地域本部に報告します。

- 被災状況と対応進捗を、町会は地域本部へ、地域は区本部へ報告します。